

豊かな未来を築くための3本柱

少子化対策

安心して子育てができ、こどもたちが生き生きと生活できる環境を整備します。

未来への投資

働く意欲や活力がわく社会の実現とともに、未来へつなぐ人材の育成を図ります。

居場所づくり

自分らしく過ごせる居場所が見つかり、心豊かに暮らせるまちづくりを目指します。



主な事業

少子化対策 ～こどもたちの未来のために～



拡充 給食費負担軽減事業

予算額 2億3,860万6千円

給食費の保護者負担を軽減するため、小学校の給食費を実質無償化し、中学校の給食費は食材高騰分を支援します。



継続 表郷こども園整備事業

予算額 4億292万7千円

質の高い幼児教育を提供するため、市内では公立初の認定こども園となる「表郷こども園」を整備します。



新規 アプリによる子育て世帯の「医療相談」事業

予算額 599万6千円

子育て期の育児・病気に対する不安を軽減するため、こどもの急な発熱や体調不良時に、24時間365日、医師に相談可能なアプリを導入します。

特集 令和8年度 施政方針・当初予算

白河の明るい未来を切り拓く



施政方針

2月25日に開会した市議会定例会で、鈴木市長が令和8年度の施政方針を表明しました。



長期的に見れば、東京も含めた全ての地域で人口が減少するのは必至であります。今後は「スマートシュリンク（賢く縮む）」を前提に、少子化対策はもとより、雇用や医療・介護、さらには住環境や教育、そして連携や受益と負担の在り方などについて、幅広い議論を行うことは私たちに課せられた義務であります。

とりわけ、介護や建設分野などでは、働き手不足が深刻化し、外国人に頼らざるを得ない状況となることから、外国人も市民の一員として共に暮らしていける「多文化共生」についても具体的対策を講ずる必要

があります。

また、若者や女性が帰りたい、住み続けたいと思える地域としていくため、AIやロボットなどの先端技術と、地域に根を張る中小企業のノウハウや伝統文化を融合させ、新たな価値を生み出すイノベーション（技術革新）を支援することにより、地域産業の底上げを図り、安定した雇用を創出するとともに、地方に根強く残るジェンダーギャップ（男女格差）や目に見えない偏見の解消に取り組んでまいります。

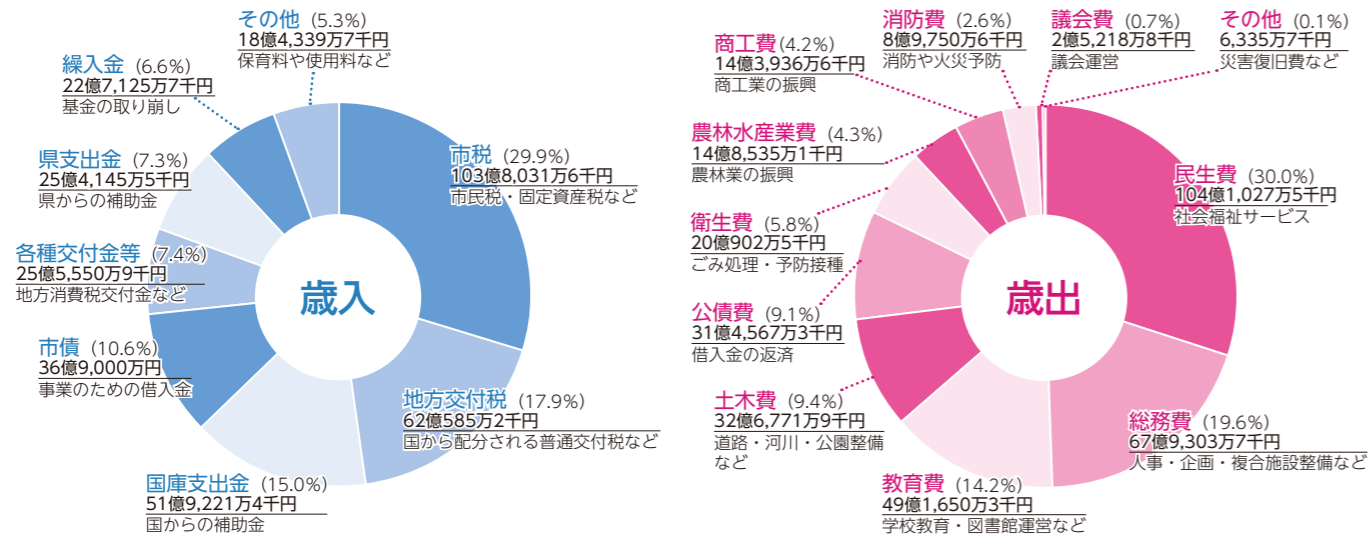
加えて、フェイクを含めた大量の情報が溢れる時代を生き抜くためには、心と体を使い、さまざまな体験を積み重ね、感受性や想像力を高めることが一層重要になることから、文化・芸術やスポーツの振興に加え、複合施設「しらふる」を中心に、市民同士が緩やかに繋がりながら、交流できる居場所の充実を図ってまいります。

（一部抜粋）

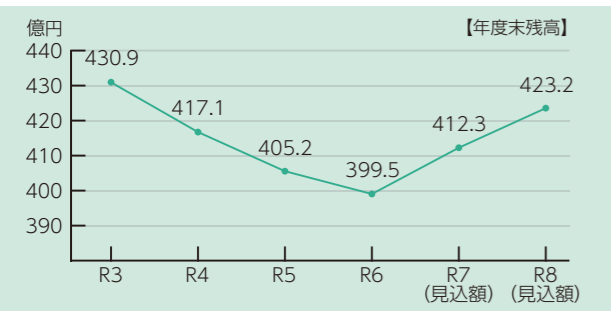
令和8年度当初予算

一般会計予算額 346億8千万円 (前年度比4.1%増)

きめ細やかな子育て支援、人口減少対策に伴う定住支援や多文化共生の取り組みなどのほか、産業の振興、環境に配慮したごみ減量化、地域コミュニティの強化、公共交通の充実などに予算を配分しました。
また、依然として続く物価高や賃上げなどによる経常経費の増加に対応するとともに、歳出の効率化に努めました。

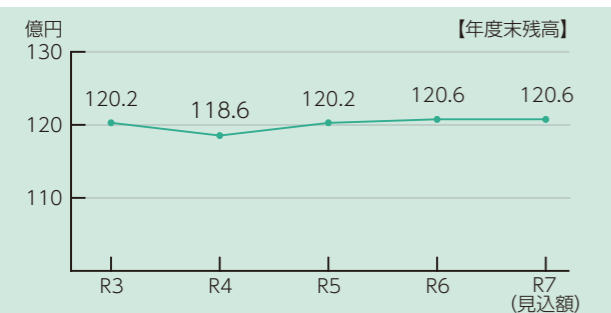


市債(臨時財政対策債を除く)・企業債の推移



市の「借入金」にあたる市債・企業債は、道路や学校などを整備するため、将来の負担を考慮し計画的に活用しています。

基金の推移



市の「貯金」にあたる基金は、災害発生時の緊急の対応や教育・文化の振興、市民福祉の向上などに活用しています。

特別会計予算額

会計名	予算額	前年度比(%)
小田川財産区	248万2千円	△26.2
大屋財産区	44万3千円	9.4
樋ヶ沢財産区	80万4千円	59.8
国民健康保険	53億8,391万7千円	△4.0
後期高齢者医療	9億3,329万5千円	17.6
介護保険	61億7,615万8千円	0.8
地方卸売市場	1,068万8千円	1.0
合計	125億778万7千円	△0.3

公営企業会計予算額

会計名	予算額	前年度比(%)
水道事業	24億9,351万9千円	0.4
工業用水道事業	9,528万7千円	△3.5
下水道事業	38億1,305万9千円	△0.1
合計	64億186万5千円	0.0

未来への投資 ～人を育て未来を創る～



新規 定率タクシー支援事業
予算額 2,032万3千円

バスや自家用車の利用が困難な方の移動を支援するため、高齢者や障がい者、妊産婦を対象に、タクシー料金の2分の1を補助します。



新規 ごみ減量対策事業
「わけて・しばって・へらそう ～市民総ぐるみ ごみ減量大作戦～」
予算額 1,015万4千円

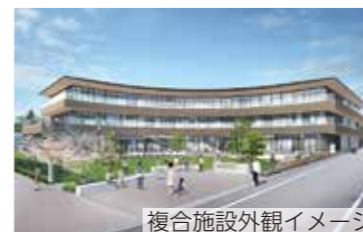
1人1日あたりのごみ排出量を減らすため、リサイクル対策の「わけて」、生ごみ対策の「しばって」を柱とした減量対策に取り組みます。



新規 産業祭
予算額 2,597万3千円

交流人口の拡大と、こども・若者の将来的な地元就職や起業への意欲を育むため「職」と「食」をテーマに仕事体験、地元製品の販売などを行います。

居場所づくり ～自分らしく過ごせる居場所～



複合施設外観イメージ

継続 複合施設整備事業
予算額 31億9,092万円

新たな市民の交流・活動拠点となる複合施設「しらふる」整備のため、本体工事を進めるとともに、開館に向けた準備に取り組みます。



人工芝のイメージ

継続 グリーンフィールド整備事業
予算額 4億3,641万4千円

サッカーを中心としたスポーツ、その他イベントの開催を通じて地域の活性化を図るため、県南地域初の多目的な人工芝のグラウンドを整備します。



清水門復元イメージ

継続 清水門復元整備事業
予算額 1億9,024万7千円

小峰城の歴史的価値をさらに向上させるため、二之丸と本丸を結ぶ重要な門であり、城内最大規模を誇った清水門の復元整備を実施します。



新規 図書館利用促進事業
予算額 371万7千円

図書館の利用を促進するため、誰もが楽しめる布絵本などを集めた「りんごのたな」の設置や、コロコロコミックと連携したイベントを実施します。

当初予算について詳しくは、市ホームページをご覧ください。
当初予算記者会見の動画も公開しています。

☎ 財政課 ☎ (28)5504

ホームページ
はこちら

